



やぐら組み立て手順書

Ver.2.0

2015/7/26 改訂版



四宮小おやじの会

■ 注意事項

- この手順書は、作業の安全性を保障するものではありません。必ずメーカーの説明書を熟読頂き各自団体の責任の基、本書をご活用ください。
- この『やぐら組み立て手順書』を利用した結果については、『やぐら組み立て手順書』の作成にあたった各担当者、ならびに四宮小おやじの会は、一切の責任を負いません。利用者の責任において行ってください。
- この『やぐら組み立て手順書』は、ボランティア団体とその関係者は、自由にご利用いただけます。二次使用する場合は、事前に四宮小おやじの会にご連絡ください。
- 組み立て時は、ヘルメット着用等により、上下作業時の落下物による怪我を防止する配慮を行ってください。
- 重量資材のため、手や足を挟む事故の恐れがあります。作業者全員で声を掛けあって注意を促してください。
- 旧やぐらの花飾り用枠を使用する際は、本製品と異なる部材ですので、組み立て手順や取り付け方法など事前に検討してください。
- **作業指示者を選任**して、複数名が異なる指示を出すことの無いよう注意ください。
- **ボルト本締め作業者を選任**して、ボルトの入れ忘れ、締め忘れの無いよう注意ください。
- **木ビス留め作業者を選任**して、ビス打ち忘れの無いよう注意ください。

■ 資材一覧

資材番号	部材名	数量	備考	資材番号	部材名	数量	備考
①	太鼓場支柱	4	L=3,045	⑩	ボルトナット	50	M10×20
②	飾り用支柱	4	L=2,320	⑪	ボルトナット	150	M12×25
③	1階下梁	4	L=2,254	⑫	平座金	15	
④	1階中梁	4	L=1,830	⑬	Uボルト ナット付	1	
⑤	1階上梁	4	L=1,591	⑭	木ネジ	400	
⑥	筋交い	8	L=2,957	⑮	目隠しベニヤ用ボルト (特座付)	10	特座30Φ
⑦	水平プレス	2	L=3,015	A	補強アングル	8	
⑧	踊り場床 平部	4	1,500×2,100×200	その他付属工具		数量	
⑨	踊り場床 コーナー部	4	1,500×1,500×200	・ラチェットレンチ 17/19	2本		
⑩	踊り場支柱	24	コーナー部羽根つき4本	・ホイールレンチ 19	1本		
⑪	ジャッキベース	24		・スパナ 17/19	2本		
⑫	階段	1	700×1,750	・塩ビ被覆針金 2Φ	20m		
⑬	階段手すり	2	1,000×1,900	・水準器	1個		
⑭	踊り場手すり	7	3スパン	・収納ボックス	1個		
⑮	踊り場手すり	1	2スパン				
⑯	太鼓場下梁 (床部) 中央ピース付	2	L=1,470	用意必要工具・資材		数量	
⑰	太鼓場下梁 (床部)	2	L=1,470	・脚立 6尺	2脚		
⑱	太鼓場下梁 (床部) 中央用	1	L=1,378	・脚立 9尺	2脚		
⑲	太鼓場梁 (手すり)	6	L=1,470	・インパクトドライバー	2台		
⑳	梯子受け梁	1	L=1,470	・タイラップ 30cm	100本		
㉑	梯子固定ピース	1	L=80	・ロングテープ、コンベックス	各1個		
㉒	提灯枠	4	L=2,080	・木ビス 35~40mm	10本程		
㉓	梯子	1	380×2,270	・			
㉔	踊り場床コンパネ	32	900×1,495 15mm	・			
㉕	太鼓場組立用仮設コンパネ	4	900×1,800 12mm	・			
㉖	太鼓場床コンパネ	4	900×1495 15mm	・			
㉗	目隠しベニヤ 下部	4	底辺2,030 H=590	・			
㉘	目隠しベニヤ 上部 (棧木付)	4	底辺1,860 H=890	・			
㉙	スパーサーベニヤ	15	300×300				

■ 区民センターより搬出



■ 資材運搬用の車両

- ・2tトラック → 骨組み一式
副資材
- ・軽トラック → ベニヤ板一式

※2tトラックと軽トラを用意できれば
一度で運搬可能。

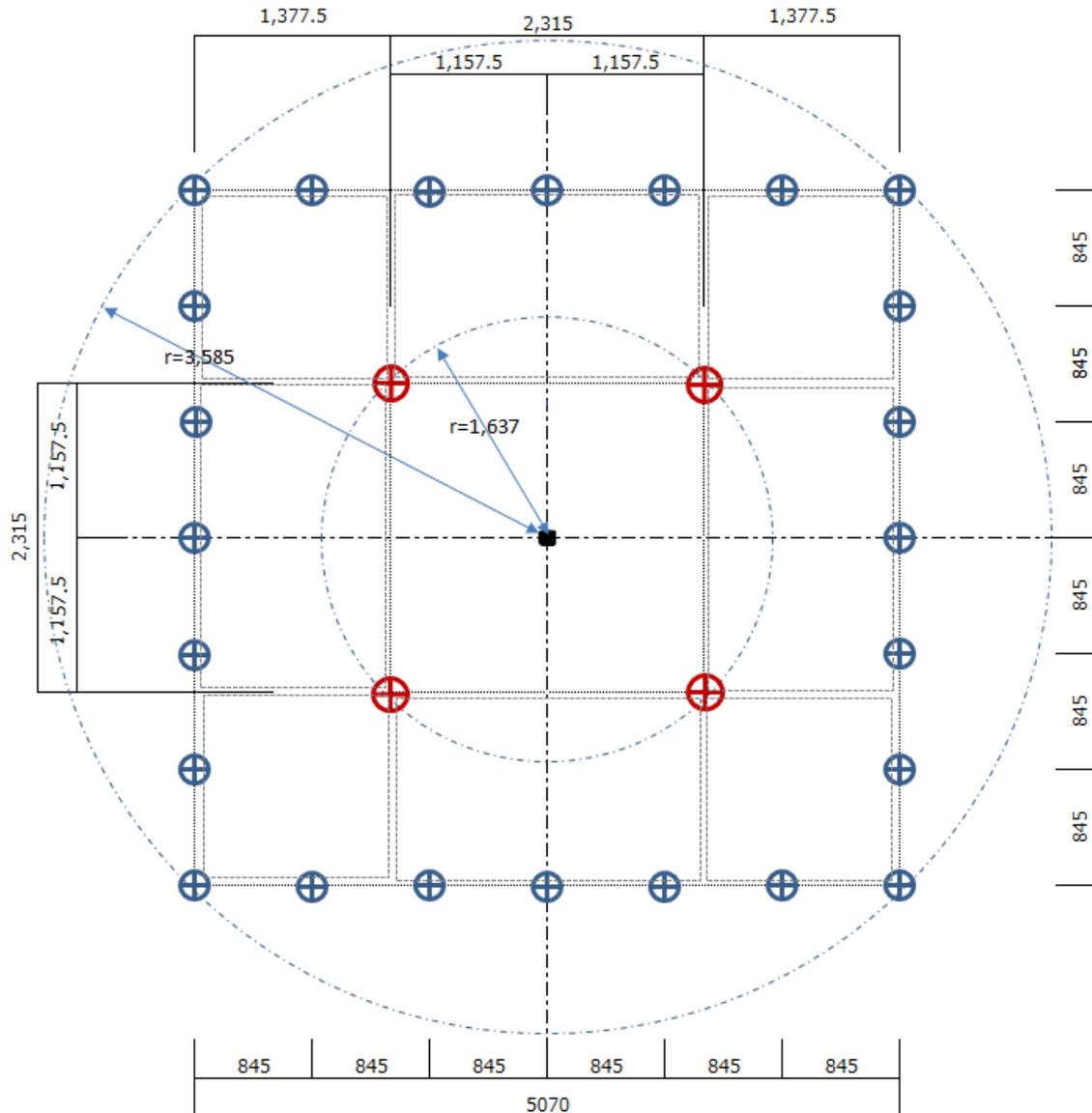
■ 積み込み手順

- ・倉庫より全資材を搬出
- ・倉庫内に積んであったように床枠から
積み、手すりや柱類をその上に乗せ、
ロープで固定。
- ・箱物やアングル類は隙間に十分に
積載可能。

※搬入搬出手順については
桃五小おやじの会様作成手順書を参照。

■ 設置準備

支柱・ジャッキベース位置図



■ 柱位置のマーキング

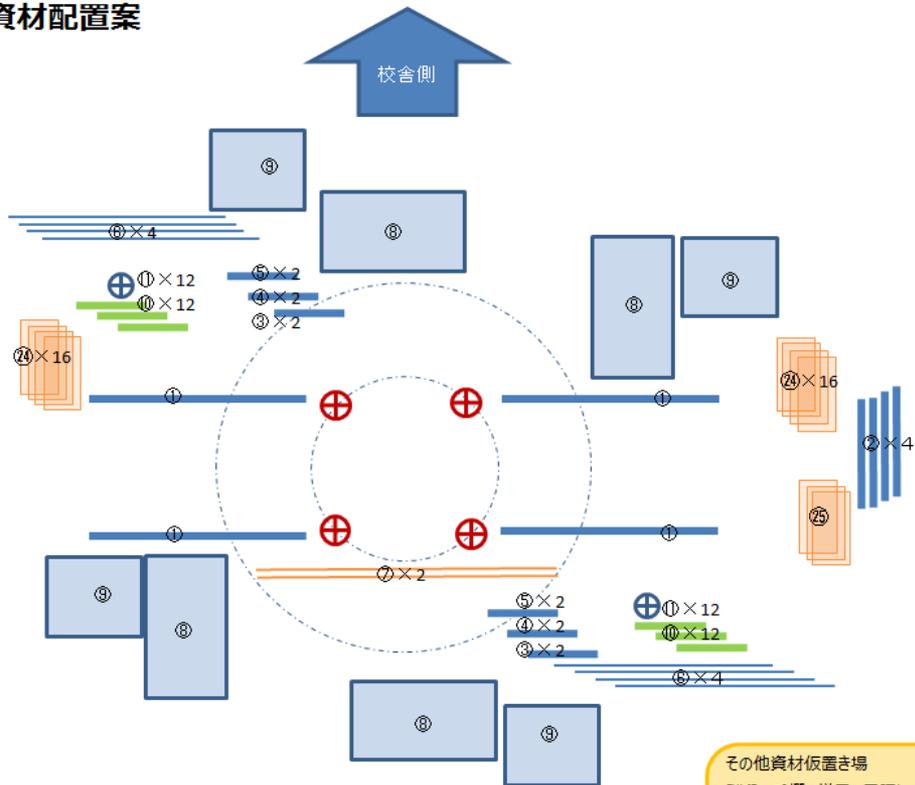
- ・図を参考に、やぐらセンターを決めて太鼓場の柱位置と踊り場の支柱位置を描く。

※太鼓場の柱位置でやぐらの位置は決まるが、踊り場の支柱位置を出しておくことで、組み立て時の作業が軽減される。



■ 荷降ろし

荷卸し・資材配置案



その他資材仮置き場
 階段、手摺、梯子、目隠しベニヤなど
 ⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑
 ㉒、㉓、㉔
 箱物
 ㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚

■ 組み立て易いようにトラックからの荷降ろし位置を工夫することで組み立ての効率を図る。

※図は四宮小の一例。

■ 頂上部の花飾りは、旧やぐらの飾り用枠を使用。
 本やぐら組み立て完了時に頂上へ乗せるので**予め組み立てておく**。



■ 使用ボルト数量一覧

ボルト ナット 入れ	順番	行程	ボルト・ナット個数		ワッ シャー 枚数
			10mm	12mm	
下用	手順① 手順②	⑦ (ブレース) 組みまで	-	40	-
	手順③ 手順④	中段踊り場組みまで	-	40	8
	手順④	中段踊り場コーナー四カ所のブレースのみ	16	-	-
	小計		16	80	8

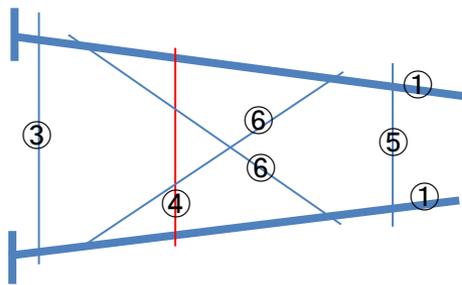
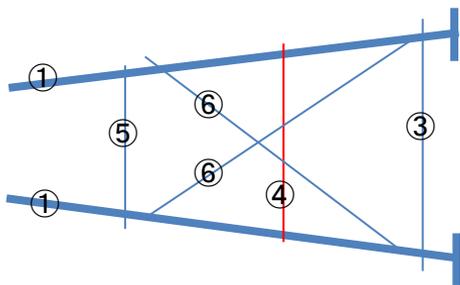
上用	手順⑦	②・⑤組みまで	-	20	-
	手順⑥	階段取付のみ	-	3	-
	手順⑥	階段手すり取付のみ	8	-	-
	手順⑧	⑬・⑭・⑮組みまで	-	10	-
	手順⑧	⑲組みのみ	-	16	-
	手順⑧	提灯枠のみ	-	12	-
	手順⑨	ハシゴ固定のみ	-	1	-
	小計		8	62	0

合計		24	142	8
----	--	----	-----	---



2015/7/26
四宮小盆踊り終了後のカウント状況

■ 組立て【手順①太鼓場枠組】



使用資材

①、③、④、⑤、⑥、M12ボルト

・太鼓場となる枠組み2面を地面に寝かせた状態で組む。

1) 支柱の向きに注意し配置。

2) 横材③、④、⑤を取付。

→④は、支柱の下

(起こしたとき外側になるように)

3) 筋交い⑥を取付。

→⑥は、羽部が背合わせになるように。

・部材に書かれた数字が、組み上げたときに内側から正しく読めるように組む。

・支柱①の上から2つのボルト穴は②を取り付ける穴なので注意。

(下から③→⑥→④→⑥→⑤→②→②)

※ **組み上げるまでボルトは手締めでOK**

■ 組立て【手順②太鼓場枠起こし】

使用資材

①、③、④、⑤、⑥、M12ボルト

・手順①で陸組みした枠を起こして
繋ぎ合わせる。

- 1) 横材③、④と筋交い⑥を取付る。
→⑥の上部は脚立を使用。
→⑤は危険なので後で取付。
- 2) 足元水平筋交い⑦を取付。
→⑥と同様、羽部が背合わせになる
ように
- 3) 水準器で水平を確認しながら
支柱下をコンパネで高さを調整する。
→コンパネは必要に応じて枚数調整

※ 組み上るまでボルトは手締めでOK



■ 組立て【手順③ 踊り場(平部)組立】



このボルトに
ワッシャーを噛ませます

使用資材

⑧、⑩、⑪、M12ボルト、ワッシャー

・手順②で組立てた太鼓場枠に
踊り場枠を取付。

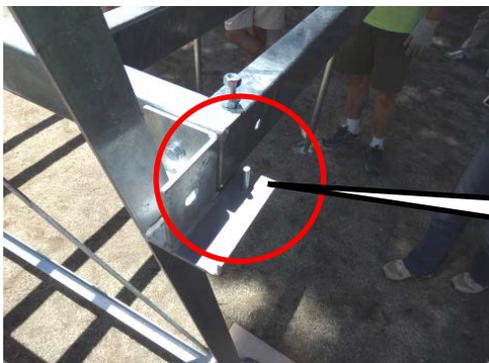
- 1) 予め、ジャッキベース⑪と支柱⑩を配置する。
- 2) 床枠⑧を、太鼓場枠の台座に合わせて、支柱⑩を差し込む。
- 3) 太鼓場枠との接続ボルトにワッシャーを噛ませる。

※ 4面とも同様に取付。

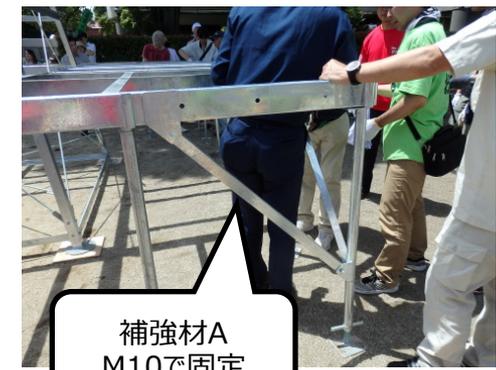
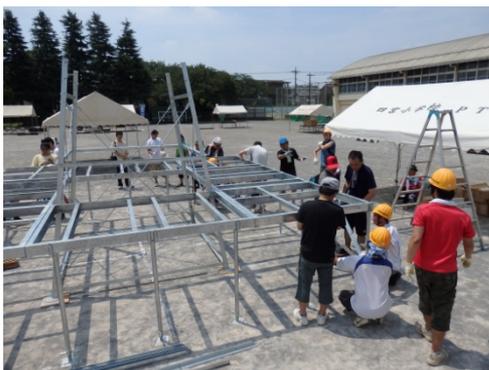
- 4) 見た目の良いので床枠の水平をジャッキベースで調整する。

※ **組み上げるまでボルトは手締めでOK**

■ 組立て【手順④ 踊り場(角部)組立】



このピンに差し込む



補強材A
M10で固定

使用資材

⑨、⑩、⑩羽根つき、⑪、M12ボルト
補強材A、M10ボルト

・手順②で組立てた太鼓場枠に
踊り場枠を取付。

1) 予め、ジャッキベース⑪と支柱⑩
を配置する。

2) 床枠⑨を、太鼓場枠の台座の
ピンに合わせて、支柱⑩を差し込み
接する床版⑧とボルト連結する。

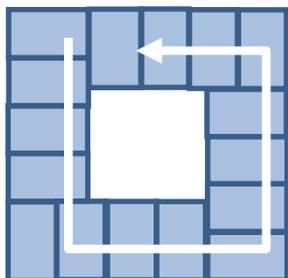
※ 4角とも同様に取り付け。

3) 羽根つき支柱⑩と床版⑨に
補強材AをM10ボルトで取り付け補
強する。

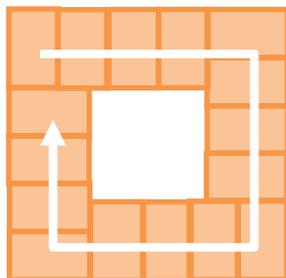
4) 水準器で確認し床版が水平に
なるようジャッキベースで調整する。

※ 組み上げるまでボルトは手締めでOK

■ 組立て【手順⑤踊り場コンパネ敷き】



一枚目



二枚目

使用資材

コンパネ⑳

900×1500 32枚 (16×2重)

1) 図のように床版の角部からコンパネを太鼓場枠に向かって縦に敷き並べ1枚目と2枚目の継ぎ目が重ならないように2重敷きする。

→ 2枚目のコンパネをビス止めすることで1枚目と2枚目が一体になる。

- ・コンパネが反っている場合は、その反りが『凸なり』になるように敷く。凹なりに敷くと、乾燥で反りが強くなりコンパネの端部が跳ね上がってくる。ビス止めする際に、状況に応じて長いビスで補強が必要。

- ・コンパネがはみ出ていると手すりが入らなくなるので、手すり受け口に被らないように目一杯中央側へ寄せる。

■ 組立て【手順⑥手すり、階段取付】



階段用枕木

使用資材

階段⑫、階段用手すり⑬

踊り場手すり⑭、⑮

階段用枕木× 2、M12ボルト× 3

M10ボルト

- ・階段手すりは、先に階段に取り付けた方が取付けやすい。
- ・後工程の作業性を考えると、階段手すりは、後付けのほうが良い??
- ・踊り場をジャッキアップしている分、階段足元が低くなる（約10cm）ため階段用枕木などを用いて階段の水平を調整すること。
- ・踊り場手すりは、床版のソケットに差し込むだけ。
- ・階段は、全方向の右端に取付可能。

※ここで下部のボルトを本締めする

■ 組立て【手順⑦太鼓場組立】



①⑥

①⑦

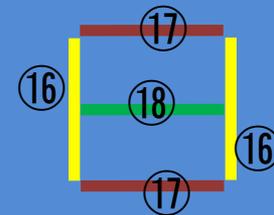
①⑧

使用資材

⑤、②⑤、②、①⑥、①⑦、①⑧、①⑨、①⑩、①⑪、①⑫、
仮足場コンパネ、M12ボルト

※ここからヘルメットを着用。
ボルトの落下で怪我の恐れあり。

- 1) 太鼓場支柱に残りの横材⑤を取付。
- 2) 組立て用仮足場②⑤を⑤に乗せてコンパネを十字の置く
→ 組み立て完了後は撤去
- 3) 飾り用支柱②を①に差し込む
- 4) 太鼓場床柵①⑥、①⑦を、向かい合うように取り付け、中央補強①⑧を①⑥に取付。



- 5) 太鼓場床コンパネを踊り場床同様、継ぎ目が重ならないよう向きを変えて2重敷きする。

■組立【手順⑧手すり、提灯枠取付】



使用資材

⑭、⑮、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、M12ボルト

※必ず3人以上で作業すること。
資材が落下する恐れあり。
1名は資材持ち、2名がボルト締め

- 1) 梯子受け手すり⑳を取付。
→どの面でも取り付け可。
梯子位置に応じて取付。
- 2) 残り3面に、手すり⑲を取付
- 3) 飾り用支柱㉑の頂上に、提灯枠
㉒を取付
→提灯フックは下側になるように

※ここで上部のボルトを本締めする

■ 組立【手順⑨】目隠ベニヤ、梯子取付



使用資材

⑳、㉘、㉙、タイラップ

- 1) 目隠しベニヤ（下部）㉙を4面横材④にタイラップで固定
- 2) 目隠しベニヤ（上部）㉘を4面横材⑤にタイラップで固定。
 栈木が外側になるように。
- 3) 梯子受け手すりに梯子㉙を引っ掛ける。
 梯子足元はUボルト付きアングルで、横材④に固定する→M12×1

※ **ここで床板を木ねじで固定する**

↑ 四宮小おやじの会は1枚当たり6か所ビス止め

・コンパネは、水分を含んだり乾燥したりによって反り返ってくる。付属の木ビス以外に35～40mm程度の長いビスを用意していたほうがベスト！

■ 組立【手順⑩花飾り取付け】



使用資材

- 1) よしずの垂れ防止に提灯枠に、被覆ワイヤーを張る
- 2) よしずを十字に敷いて、提灯枠にタイラップで固定する。
垂れ下がった余った分を丸めてタイラップで固定
- 3) 予め組み立ててといた花飾りを頂上に乗せて、タイラップで固定する

※必ず声を掛け合って作業すること。
タイミングがずれると落下したり事故の原因となる。

■ 組立【手順⑪飾りつけ】



階段手すりに
紅白テープはNG

紅白幕は階段
手すりまで掛ける

提灯や紅白幕、紅白テープの飾り付けを行って、設営完成。

・紅白幕

2階用紅白幕だけ長さが異なる。
1階用のものを2階に巻くと長さが足りなくなるので注意。

1階用紅白幕は、階段手すりまで届く長さがある。

・紅白テープ

手すりに巻く紅白テープは、『階段手すり、梯子、梯子受け手摺』には巻き込み禁止。手に触れる機会が多く、すぐに緩んで滑りやすくなり怪我のもとになる。

■ 解体

- 1) 花飾り撤去 : 2名で竹ごと取外し、下で2名が受取り
- 2) 花飾り枠撤去 : 2名で取外し、下で3名が受取り
- 3) 提灯枠撤去 : 3名で取外し、下で2名が受取り
- 4) 飾り用支柱撤去 : 2名で取外し、下で2名が受取り
- 5) 太鼓場床板撤去 : 2名が取外し、下で2名が受取り
- 6) 太鼓場床枠撤去 : 3名で取外し、下で2名が受取り
- 7) 踊り場床板撤去 : 1名がビス外し、下からコンパネ抜取り
- 8) 踊り場床枠撤去 : 1名がボルト外し、4名で床枠撤去
- 9) 支柱、ジャッキ撤去 : 若干名
- 10) 太鼓場支柱のつなぎ撤去 : 3名で取外し、下で2名が受取り
- 11) 太鼓場支柱倒し : 1面6名以上で倒していく
- 12) 倒した太鼓場支柱の解体 : 1名でボルト外し
- 13) できるだけ的人数で、解体した資材をトラックに積み込み

解体完了後は、**ビス、ボルト、ナット**の数を確認して、紛失していないかを確認すること。



- ・基本的には組み立ての逆順。
上部から順に解体する。

資材、ボルト類の落下によって事故になる恐れがあるためヘルメットの着用と声を掛け合うことを厳守のこと。

最低必要人員

飾り枠～太鼓場	: 5人
踊り場床板	: 4人
踊り場床枠	: 5人
トラック積み込み	: できるだけ

それぞれ

ボルト外し選任	: 1名
木ビス外し選任	: 1名
資材支え	: 1～2名
上下荷受荷渡し	: 1～4名

での構成を想定。

STAFF



おやじの会

— Since Oct. 2004

STAFF



おやじの会

— Since Oct. 2004